

【博士前期課程】

(審査体制)

1. 学位論文または特定の課題についての研究成果（以下「学位論文等」という。）の審査は博士前期課程学位論文審査委員会が実施する。
2. 審査委員の構成は下記のとおりとする。
主研究指導教員 1名
副研究指導教員もしくは研究科委員会から選ばれた上記以外の教員 2名

(審査方法)

1. 博士前期課程学位論文審査委員会により、試験を実施する。
2. 試験内容は次のとおりとする。
論文審査
口頭試問

(評価項目)

1. 研究課題設定の妥当性
2. 理論枠組み・アプローチの適切性
3. 論文全体構成の適切性
4. 先行研究検証の妥当性
5. 学問的な論考の適切性
6. 結論の適切性
7. 独創性
8. 引用、注の表記および引用参考文献リストの適切性
9. 論文要旨の妥当性

(評価基準)

上記の評価項目のすべてについて、修士論文としての水準に達していると認められるものを合格とする。

【博士後期課程】

(審査体制)

1. 学位論文の審査は博士後期課程学位論文審査委員会が実施する。
2. 審査委員の構成は下記のとおりとする。
 - 主研究指導教員または紹介教員（主査） 1名
 - 副研究指導教員 2名
 - 研究科委員会から選ばれた上記以外の教員 1名
 - 他大学の大学院または研究所等の教員等 1名

(審査方法)

1. 博士後期課程学位論文審査委員会により、試験を実施する。
2. 試験内容は次のとおりとする。
 - 公開型審査会の実施
 - 論文審査
 - 口頭試問または筆答試験

(評価項目)

1. 研究課題設定の妥当性
2. 理論枠組み・アプローチの適切性
3. 論文全体構成の適切性
4. 先行研究検証の妥当性
5. 学問的な論考の適切性
6. 結論の適切性
7. 独創性
8. 引用、注の表記および引用参考文献リストの適切性
9. 論文要旨の妥当性

(評価基準)

上記の評価項目に加え、北東アジア研究や地域開発研究分野の新しい有効な学問・方法論の創出への貢献についても考慮して評価を行う。

【博士前期課程】

修士論文審査基準

(1) 論文審査委員による論文の審査基準

① 特別研究論文

- ・学術的価値・有用性のある研究である
- ・研究に独創性がある ・文献検討が適切に行われ、目的と意義が明確である
- ・キーワードや概念の定義が適切である
- ・研究デザインや研究方法は適切である
- ・倫理的配慮は適切である
- ・データ収集・分析・解釈は適切である
- ・論文として論旨が明確で、一貫性がある

② 課題研究論文

- ・専門領域の実践に貢献する有用性のある研究である
- ・文献検討が適切に行われ、課題と意義が明確である
- ・キーワードや用語の定義が適切である
- ・研究デザインや研究方法は適切である
- ・倫理的配慮は適切である
- ・データ収集・分析・解釈は適切である
- ・論理的に構成されており、矛盾や飛躍がない

(2) 公開発表会・論文審査（口頭試問）・最終試験の審査基準

① 特別研究論文

- ・公開発表における、目的・方法・結果が明快で、わかりやすい
- ・研究の目的・意義、方法、結果などを正しく理解している
- ・口頭による応答が的確にできる
- ・特別研究論文において、主査および副査の指摘箇所について適切な修正ができている

② 課題研究論文

- ・公開発表における、目的・方法・結果が明快で、わかりやすい
- ・研究の目的・意義、方法、結果などを正しく理解している
- ・口頭による応答が的確にできる
- ・課題研究論文において、主査および副査の指摘箇所について適切な修正ができている

【博士後期課程】

博士論文審査基準

- ① 看護学に貢献する学術的価値・有用性のある研究である
- ② 独創性・発展性を有している
- ③ 研究課題は適切に表されているか
- ④ 十分な文献検討に基づき、研究の重要性・意義は明確にされている
- ⑤ 研究目的は明確である
- ⑥ 研究目的に適った研究デザイン・研究方法を用いている
- ⑦ 研究方法が詳述されている
- ⑧ 必要なデータが適切に収集されている
- ⑨ 収集されたデータが適切に分析されている
- ⑩ 研究目的に適った結果が示されている（図表の提示も含む）
- ⑪ 十分な文献を用い、考察を深めている
- ⑫ 明確で一貫性・論理性のある議論が展開されている
- ⑬ 倫理的な問題がない
- ⑭ 抄録は研究の概要を適切に示している